

屋根用: 中塗り材

断熱パワールーフ

系統 アクリル重合物



塗装条件

塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希釈率	0-5% (清水)
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.3 kg/m ² /回

注) 上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目	温度	21-25 °C
	標準塗布間隔	最短 3-4 時間 最長 7日間

pH: 7.6-8.6

標準膜厚: 0.225mm/回

塗料性状

	項目	内容
1	荷 姿	12 kg
2	混 合 比	1液
3	色	白色
4	つ や	—
5	臭 い	かすかな臭い
6	仕 上 が り 感	平滑
7	比 重 / 密 度	0.72-0.76 (g/cm ³ /23°C)
8	溶 剤 比 重	—
9	加 熱 残 分	53-59 (%)
10	粘 度	14,000 ± 2,000 (mPa·s/23°C)
11	劇 物 表 示	—
12	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	イソプロピルアルコール、プロピレングリコールモノメチルエーテル
13	使用有機溶剤種別	—
14	消防法による危険物区分	適用外
15	硬化剤の成分による区分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ①熱伝導を抑制して、躯体の温度上昇を抑えることができます。
- ②通常塗料材の4倍の接着力、各種基材との密着性に優れているため、長期にわたり基材を保護します。
- ③柔軟性に富む塗膜は防水性効果大、柔軟性があり、建造物のクラックによる水の侵入を防ぎます。
- ④割れ・膨れ・剥がれ及び変色がなく、躯体の腐食、錆を防ぎ塩害対策に有効です。
- ⑤夏は室内温度を低下、冬は暖気の逃げを抑制、冷暖房消費電力を削減します。
- ⑥騒音を軽減し、音によるストレスを緩和、結露抑制で部材の腐食を予防が可能です。

主な適用素材

鋼板、トタン、波形スレート、ALCなど

適用下塗塗料

アドクールシーラー、アドマイルドコートSP、マルチプライマーEP、アドパーミエイト

使用上の注意事項

- 1) 下地表面に水分がある場合フクレの原因となるので、充分乾燥していることを原則とする。
- 2) ワイヤブラシ、スクレーパー、ケレン棒などを用いて、屋根表面、瓦棒部、フックボルト部等の錆及び浮き上がっている脆弱な既存塗膜層を完全に落とす(三種ケレン)
- 3) 高圧洗浄機を用いて12~15MPaで洗浄を十分に行い、表面の油分、砂、埃等の汚れを除去する。
- 4) 高速攪拌機を用いて気泡を巻き込まないように攪拌する。
- 5) 施工時に降雨のある場合、また直後下地に水分がある場合は施工を中止する。
- 6) 施工時の温度は、原則として5°C以上とし、夜間の気温が氷点下になるおそれがある場合は午後3時頃までに作業を打ち切る。
- 7) 施工時の湿度80%以上での施工はできません。
- 8) 施工後24時間以内に、降雨・降雪・濃霧の予報がある場合は塗装しないで下さい。
- 9) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 10) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますので、予めご了承ください。